

1. 学校の教育理念・目的・目標

<p>教育理念（建学の精神） わが学園は、教育を通して「努力心」「誠実心」「独立心」を養い、平和社会の建設に貢献する人間を育成することを使命とする</p> <p>教育目的 (専門教育部門) 「努力を継続する人になる」「いつも誠実であり信頼を勝ち得る人になる」「自立し、自身の決定に責任を持つ人になる」強い気持ちと覚悟を持ち、日本また母国で「平和を作る」グローバル人材として堂々と働くことができる人材となれるよう、必要な専門知識・技能及びマインドを養うことを目的とする。</p> <p>(日本語教育部門) 「努力を継続する人になる」「いつも誠実であり信頼を勝ち得る人になる」「自立し、自身の決定に責任を持つ人になる」強い気持ちと覚悟を持ち、日本また母国で「平和を作る」グローバル人材として堂々と働くことができる人材となれるよう、次のステップとしての進学に必要な日本語能力を養うことを目的とする。</p> <p>教育目標 (専門教育部門) ・自己理解を深め、自身が希望する社会貢献の形に合った就職先への就職を可能とするための専門知識・技能及びマインドを養う</p> <p>(日本語教育部門) ・目標とする進路先で求められる日本語力を身につける。 ・日本で学び日本で働くために、日本事情への理解を深め社会人としての基礎を養う。 ・自分自身で目標を設定し、自律した学習や行動ができる。 ・互いを尊重し、社会の一員として柔軟に対応できる力を養う。</p>

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

<ul style="list-style-type: none"> ・進路実現率98%以上の達成（就職・進学） ・学校教育法改正に対応する学則変更 ・学科一体運営に資する号館使用、引っ越しプロジェクト ※専門教育部門 ・時代に即したカリキュラム変更（経営マネジメント科・情報ビジネス科） ・新たな募集スキームの展開（指定校推薦、広域現地入試（名古屋）追加） ※専門教育部門 ・対象を拡大した高校連携教育交流授業の成功（受講者数10名以上、修了率80%以上） ・認定日本語教育機関申請準備（2026年度第1回申請に向けての準備）※日本語科 ・仕組みで動かす学科運営の体制作り、教育の質の向上 ※日本語科 ・寮運営のスリム化・効率化 ※日本語科
--

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標	委員の評価	B
評価項目		
学園の建学の精神、教育テーマが教職員に浸透しているか		
学校の理念、目標・育成人材像を定めているか		
学校の理念、目標・育成人材像およびその関連性を教職員が理解しているか		
目標とする育成人材像に合わせ、学科ごとに特色ある教育活動に取り組んでいるか		
各学科の教育目標、育成人材像は、関連する業界ニーズに適合しているかの再考がされているか		
学校の理念、目標・育成人材像が、学生に周知されているか		

①課題

学生への周知・浸透

教育理念・目的・目標と、日常の授業等の連動

社会の変化、社会のニーズの急激な変化に追随した教育内容の提供

②今後の改善方策

ホームルーム等、授業として学生に直接伝える仕組みの取り入れ

キャリア教育の充実

定期的な確認

③特記事項

毎年教育システムの見直しを図り、改善行動を継続している

専門教育部門では2025年度中、カリキュラム変更を実施した

(2) 学校運営

委員の評価

B

評価項目

理念（建学の精神）等に沿った運営方針を定めているか

理念（建学の精神）等に沿った事業計画を定めているか

学生数（あるいは受け入れる学生の言語数）に応じた組織体制になっているか

規程やマニュアルが整備され、適宜参照できる状態になっており、活用されているか

人事・給与に関する規程等が整備され、参照できる状態になっているか

指示命令系統が明確であり、意思決定がスムーズに実行に移されているか

固定資産、備品等の購入、管理が制度に基づき適切に行われているか

シラバス等、教育活動に関する情報公開を適切に行っているか

情報システム化等により業務の効率化を図っているか

日本語教育機関の告示基準に適合していることを年1回以上確認しているか

運営や教育活動に必要な情報を教職員間で共有する仕組みがあり、機能しているか

学校の短期および中長期目標が教職員に周知されているか

①課題

ICT活用による業務効率化（手書き・ハンコ文化からの脱却含む）

学生数・多国籍に対する充実した環境・体制の整備

規程・マニュアル等の定期的なアップデート

②今後の改善方策

DXを推進するための職場風土醸成からの取り組み

ユーティリティルームの設置による学生サービスの向上

規程・マニュアルの定期的な見直し・更新

③特記事項

理念に沿った学校運営は概ね適切に行われており、今後は運営基盤の整備を進めることで、より安定した学校運営を目指す。

学園としてDX推進のためのプロジェクトは動いている

(3) 教育活動

委員の評価

B

評価項目

教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等を定めているか

学科ごとに修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか

教育目的・目標に沿ったカリキュラム編成になっており、目標達成に必要な学修時間を確保しているか

教育目標に合致した教材が選定されているか
教育内容、教育方法について教員間で共通理解が得られているか
シラバスを学生に開示（または学習計画を提示）し、開示したシラバスに沿って授業を展開しているか
授業報告、出席状況を正確に記録し、見直すことができる体制を整えているか
キャリア教育・支援を実施しているか
教育システムの見直しを定期的にかけており、改善行動がなされているか
インターンシップ、実技実習等に関する定めがあり、体系的に実施しているか
授業アンケートを実施し、評価・フィードバックを行っているか
教員の指導力向上のための取り組みを行っているか
成績評価、単位認定の基準を定めているか
成績評価基準を学生に予め提示し、評価基準に沿った評価を行っているか
「日本語教育の参照枠」の枠組みに沿った評価を行っているか
進級要件、卒業要件を明確に定めているか
目標とする資格（免許）を、カリキュラムの中で明確に位置付けているか
資格（免許）取得の指導体制が整っているか
資格・要件を満たした教員を確保しているか
教員の実力開発、指導力育成、資質向上のための取組み（研修等）を行っているか

①課題

教員の指導力向上、均質化
研修内容の充実、専門性に合わせた各種研修の受講
キャリア教育・支援の充実化

②今後の改善方策

外部研修を受けやすくする体制の構築
外部講師の活用を含む研修内容の見直し
キャリア教育内容・支援体制の見直し、再構築

③特記事項

カリキュラム編成、成績評価、資格取得支援については一定の成果が見られ、今後は教育体制の一層の充実を目指す。 成績認定、進級・卒業要件等の規定は明確に定まっているので、教員自身がルールを理解し、学生に事前に伝えることが求められる
--

(4) 学修成果

	委員の評価	B
評価項目		
学生の自己評価（PA等）を実施しているか ※PA・・・パフォーマンスアセスメント		
卒業後の進路を把握しているか		
進路達成（就職率・進学率）の向上が図られているか		
進路達成（就職率・進学率）の評価を行い、改善を図る取り組みを行っているか		
検定合格、資格取得、免許取得の状況を把握しているか		
資格・免許取得率の目標値を達成できているか		
（成果発表を含め）学習成果を学外に対して示しているか		
評価判定基準及び判定方法を学生に開示しているか		

進級・卒業判定のための会議を設けているか

卒業生のキャリア形成、社会的な活躍や評価を把握しているか

①課題

卒業生のキャリア形成、社会的な活躍や評価の把握

在籍中の学修成果・進路実績等の数値化及び数値化したデータを基にした評価

②今後の改善方策

校友会との連携、校友会の活用

場合により校友会から独立した卒業生のキャリア形成把握の取り組み

学修成果の数値化の促進

卒業生とのネットワーク構築、継続的な情報交換の場作り

③特記事項

自己評価や成績評価、資格取得に関する取組は概ね適切に実施されており、学修成果の可視化と向上に努めている。

日本語能力試験（JLPT）の受験結果のデータベース化を開始（日本語教育部門）

（５）学生支援

委員の評価

B

評価項目

進路指導（就職・進学）に関する支援体制は整備されているか

生活指導担当者を適切に配置し、学生及び教職員に周知しているか

進学、就職に係る資料を学生が閲覧できる環境を整えているか

留学生活に関するオリエンテーションを入学直後に実施しているか

日本社会（文化）を理解し、適応するための取組を行っているか

学生定期面談を計画・実施しているか

学生が適宜相談に来られる体制を整えているか

必要な場合は母語等、学生が理解できる言語による支援体制を行う体制を整えているか

欠席が多い、学習態度不良の学生に対し早期のフォローがなされているか、その仕組みがあるか

気象警報発令時の措置を定め、教職員及び学生に周知しているか

休日及び長期休暇中、災害など緊急時に学生と連絡を取る手段があり、対応が可能か

退学率の低減が図られているか

学生の生活状況を定期的に把握し、相談にのる等の支援をしているか

健康診断を定期的に実施しているか

避難訓練を定期的に実施しているか

防災用品が備蓄されているか

学生寮の設置、不動産会社紹介などの生活環境支援体制を整備しているか

保護者（留学生は送り出し機関や母校）と適切に連携しているか、その体制があるか

卒業生への支援体制があるか

社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか

①課題

母語支援による支援体制の充実化 ※日本語教育部門

大規模震災時の対応

卒業生への支援体制

②今後の改善方策

学生数が多い国の母語が分かるスタッフの配置 ※日本語教育部門

留学生にとって分かりやすい防災冊子の作成

幅広い避難訓練の実施、日本語教育部門・専門教育部門合同の避難訓練の実施

③特記事項

留学生生活支援や生活面でのフォロー体制は一定の成果を上げており、学生が安心して学修できる環境づくりに努めている。

日本語教育部門、専門教育部門共に「適正校」の認定をいただいている（日本語教育部門は「クラス1」）

防災備蓄品はローリングストックとし、リストにより管理している

（6）教育環境

委員の評価

B

評価項目

校地・校舎面積は、専修学校設置基準また日本語教育機関の告示基準に適合しているか

教育上の必要に十分対応した施設・設備、教具、備品等を整備しているか

教室内は十分な照度があり、換気がなされているか

視聴覚教材を使用可能な設備があるか

学外での実習、インターンシップ等の実施体制を整備しているか

防災に対する体制を整備し、組織として対応が可能な状態か

学内施設・設備の点検を定期的に行い、安全の確保に努めているか

①課題

視聴覚設備の充実 ※日本語教育部門

学生への防災対策（授業）の充実化

換気（1号館の一部の教室） ※日本語教育部門

②今後の改善方策

視聴覚設備の充実・予算化（モニターの大型化、プロジェクター投影への切り替え等） ※日本語教育部門

多様な防災授業、体験の導入

建物更新計画の推進

③特記事項

校地・校舎および主要設備は関係基準に適合しており、学生が安心して学修できる環境の維持に努めている。

日本語教育部門では視聴覚設備のための予算化を図っている

1号館・3号館・6号館の設備美化・強化の計画を立てている

（7）学生の受け入れ募集

委員の評価

A

評価項目

機関の設置者、教育内容、進路等の情報をホームページ等で公開しているか

入学選考料、入学金、授業料、その他納付金の金額及び納付時期、学費以外に必要な費用を明示しているか

入学志願者に対して情報提供や入学相談を行っているか

希望者に対し、学校見学・説明対応を適切に行っているか

募集定員を定め、その情報を公開しているか
公開されている情報が見やすく最新のものに更新されているか
入学希望者やその関係者に理解できる言語での情報提供を行っているか
教育目標に合致した募集計画を立案し、募集地域や対象者を定めて募集活動を行っているか
海外の送り出し機関に対し、最新かつ正確な情報提供を行っているか
海外の送り出し機関の適切性を確認し、健全な募集活動となるよう調整しているか
受け入れるコースの教育内容と入学希望者のニーズが合致していることを確認しているか
入学選考基準を明確に定め、適切に運用しているか
入学志願者学習能力、学習意欲、日本語能力等を面接を含む適切な方法で確認しているか
選考に必要な情報を提供してもらい、提出された根拠資料を確認しているか
募集にあたり第三者に仲介手数料を支払っている場合、その額は授業料と比較して相当程度高額でないと言えるか
入学選考結果を入学後の学生指導、授業改善等に活用しているか
進路実現実績、学生満足度に対し、学納金は妥当なものとなっているか

①課題

ホームページ等での情報発信のさらなる充実 入学選考結果のさらなる活用 家族滞在や定住者など、在留資格の多様化への対応
--

②今後の改善方策

より見やすいウェブサイトへの改定・更新、掲載情報の定期的な見直し 入学選考結果の共有・活用 在留資格に関する勉強会・研修の実施

③特記事項

2026年度入学も前年に続き、募集定員充足 より高いレベルでの募集活動のため、継続的な見直しを図ることが大切

(8) 財務

委員の評価	A
-------	---

評価項目
中長期的に学校の財務基盤は安定し、教育活動の継続が可能な状況を言えるか
単年度予算、中期計画を策定しているか？
予算・収支計画の有効性及び妥当性が保たれているか
予算及び計画に基づき、適正に執行・管理しているか
適正な会計監査が実施されているか
財務情報公開の体制整備はできているか

①課題

より具体的な中長期計画の策定

②今後の改善方策

中長期計画の策定

③特記事項

2025年度も前年度に続き、黒字達成の見込み
独立監査人として、公認会計事務所による監査を受けている

(9) 法令等の遵守

委員の評価

A

評価項目

法令、専修学校設置基準等の遵守し、適正な学校運営を行っているか

個人情報保護のための対策を実施しているか

出入国在留管理庁ほか関係官庁等への提出、報告を遅滞なく行っているか

自己評価の実施と問題点の改善を行っているか

自己評価結果を公開しているか

学校関係者評価の委員会を組織し、評価を行っているか

学校関係者評価を公表しているか

学校ホームページに「情報公開」を適切に掲載しているか

入管法上の留意点について学生へ伝達、指導等を定期的に行っているか

アルバイト先、稼働状況を定期的に把握し、法令順守の指導を行っているか

在留に関する学生の最新情報を把握しているか

在留上、問題のある学生への個別指導を行っているか

教職員のコンプライアンス意識を高めるための取組みを行っているか

①課題

教職員による法令理解の差

学生へのかかわり方に対する教職員の温度差

②今後の改善方策

定期的な研修による法令理解の促進

マニュアル等による担保すべき担任指導範囲の明確化

③特記事項

学校自己評価・学校関係者評価を毎年実施、講評している

日本語教育部門、専門教育部門共に、入管庁より「適正校」の認定をいただいている（日本語教育部門は「クラス1」）

(10) 社会貢献・地域貢献

委員の評価

B

評価項目

学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか

学生のボランティア活動を奨励し、活動への参加を支援しているか

地域交流や地域活動を実施しているか

地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか

①課題

学生・教員共にボランティア活動に参加するための「時間」の捻出
 学生の多忙な生活を教員が知る故に、ボランティア活動への参画を奨励しづらく感じる
 地域の方とのつながりの構築

②今後の改善方策

比較的簡単に参加できるボランティア活動を探し、勧める
 地域イベントの把握、学生への周知

③特記事項

地元の高校生との交流授業や、県内高校生の受け入れ授業を実施している

(11) 国際交流

委員の評価	A
-------	---

評価項目
留学生の受入れを戦略的、組織的に行っているか
留学生の受入れ、在籍管理を適正に行っているか
留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか
入管法上の留意点について学生へ伝達、指導等を定期的に行っているか
学習成果が国内外で評価される取組みを行っているか（発信しているか）
留学生在籍部門に関し、出入国在留管理局から「適正校」の認定を受けているか
不法滞在者等を発生させないための取組み・指導を継続的に行っているか

①課題

学修成果の可視化、発信

②今後の改善方策

学校行事の積極的な外部発信（内容により参画を依頼する）
 実修行事のHPへの掲載

③特記事項

専門教育部門においては卒業生の母校（日本語教育機関）に対し、インタビュー動画を作成・送付し、進路実現実績を周知している
 留学生の受入れ・管理体制は適正に運用されており、出入国在留管理庁から「適正校」の認定を受け、健全な教育を実施している

※ 各評価項目における評価点（「適切：4」、「ほぼ適切：3」、「やや不適切：2」、「不適切：1」）
 その平均値（小数第二位を四捨五入し、小数第一位まで表示）を以下の基準により表示した

評価	基準
A	4.0 ～ 3.5
B	3.5未満 ～ 3.0
C	3.0未満 ～ 2.5
D	2.5未満

評価者：岩谷学園よこはまITビジネス専門学校教職員

（評価期間：2025年4月1日～2026年3月31日）